

超巨大海洋構造物を現地まで安全に曳航

設計・解析技術

海洋工事技術

I C T

リニューアル技術

水域環境技術

河川・湖沼工事技術

お客様のメリット

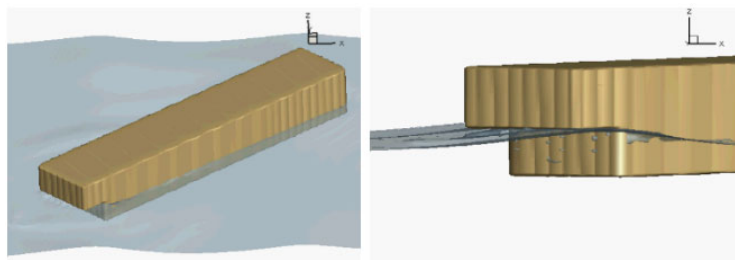
- 当社独自の動揺解析プログラムで施工の安全性を高めます。
- 現地計測や実験による計画支援・施工支援も行います。

技術の特徴

巨大な海洋構造物は、一般的にドックなどで建造後、“浮力”という自然の力を利用して現地まで曳航されます。曳航には、浮体の種類に応じて広範囲の技術が要求され、施工までに解明すべき技術的課題が多くあります。大成建設は、浮体に関して独自に開発した動揺解析プログラムをはじめ、数多くの模型実験や現地での観測によるデータの蓄積をもとに、これらの技術的課題を解決します。

【主な技術的課題】

- ・ 曳航抵抗の推定と曳航計画
- ・ 浮体復元安定性
- ・ 浮体の波浪応答
- ・ 動揺による搭載物への影響評価
- ・ 被曳航体の保針性（真つすぐ進む性能）
- ・ 曳航ルート of 気象・海象予測



曳航中の波浪影響の三次元動揺解析



コンクリートブランチバジの曳航状況

実績・事例

明石峡大橋 3 P 下部工（その2）工事
南北備讃瀬戸大橋

他多数